

犬棒写真の勧め



野川（喜多見大橋あたり）



仙川（東原橋あたり）

松崎 健

健康のために散歩する。それだけでは勿体ないので2020年（当時71歳）から目についたものを写真に撮ることにした。**ひょっとすると良い写真がとれるかも。**

それが「犬も歩けば棒に当たる」写真。**犬棒写真**



犬棒写真の良いところ

1. 良い写真が撮れなくても、「健康のための散歩」だと自分にも家族にも言い訳できる。

それでいて良い写真が撮れば自慢できる。

2. 「次の橋まで歩けば新顔の鳥に会えるかもしれない」と歩く距離が伸びる。少しぐらい天気が悪くても散歩する意欲が湧く。

3. 写真対象を求めて目や耳をフル回転させなければならぬ。⇒ 季節の移り変わりが良く分かる。



犬棒写真で注意するところ

1. 撮った写真をコンスタントに整理しないと、直ぐに溜まってしまう。
2. 野鳥を探すときは歩行がゆっくりになって運動にならないので、意識して速足で歩く区間を入れることも必要。
3. 思っていたより長時間歩くことになる場合もあるので、トイレや水分を補給する場所を頭に入れておく必要がある。

